

おおらかな笑いあふれるゆかいなお芝居 和尚さんと小僧さんの 昔ばなし

脚本／宮田恵紀子、久野由美
構成／松下哲子、劇団たんぽぽ風組
楽曲提供・編曲／川口直久 美術／八木更紗
衣裳／青木希来、劇団衣裳部 振付／森谷聖
制作／松下哲子

小会場でも
上演できます！

今日も、笑福寺ではゆかいな1日が始まります。
和尚さんと小僧さんが縦横無尽にかけまわり、
みんなに笑いをとどけます！
笑う門には福来たる！
どんなおはなしが飛び出すか、さあ、さあ、ごらんあれ！！



感想文より

- ・子どもたちが(大人も一緒に)楽しめる素敵な舞台で、本当に温かい気持ちになる時間を過ごさせてもらいました。
- ・笑い声があふれていて良かった。誰もが楽しめる内容でした。
- ・「小僧さん、逃げろ、小僧さん、逃げろ」と観ている子どもが必死に応援している姿が素敵でした。

●上演にあたって●

幸せて何だろう。私が、つい最近幸せを感じたのは、お芝居を観た子どもたちや大人が、おもいきり笑って楽しんでいる姿を見た時でした。子どもたちに観てもらった演劇には、様々なテーマや葛藤、物事を考えるきっかけになるような内容を盛り込んだ教育的部分が求められます。しかし、それは、別の作品でやればいい！とにかく今回目指すのは、生の舞台、エネルギーあふれる役者が演じるお芝居だけで、どれだけ観客を楽しませることができるか。一時でいい。日常から離れて、何も考えず、ただ、楽しかったと言って帰ってほしい。それだけの想いを込めて作った作品です。みんなで笑いあふれる時間を共有したい。それが幸せな時間だったと思い出になることを願って。

劇団創立70余年「子どもたちに夢を」小中学校の演劇教室を中心に活動

『てんしき』

おしょうさまに言われ、ご近所に「てんしき」を
借りに行く珍念(ちんねん)。
でも、「てんしき」っていったいなに？

『さんまいのおふた』

山へ行って帰り道がわからなくなった小僧さんを
一晩泊めてくれたのは、白髪のお婆ば。
夜中に小僧さんが目を覚ますと…。

